

校長あいさつ

校長 吉川 彰彦

本校は、地域の願いによって、昭和18年4月に岩泉町立農業学校として開校され、昭和23年に岩手県立岩泉農業高等学校となり、同時に夜間定時制を併設、その後、昭和24年に岩手県立岩泉高等学校と改称し、平成25年には創立70周年を迎えました。この間本校は、小川、田野畑、小本の三分校を有し、岩泉及び田野畑地域の有為な人材育成において中心的な役割を果たし、現在まで県内外に1万1千名を超える優秀な卒業生を送り出してきました。

元号が「令和」と変わる本年には創立76年目となる長い歴史と伝統を通じて、「文武両道に励み 礼節と勤労を尊ぶ」校風が脈々と築かれ、地域や同窓生、そして岩泉町から多くの期待とご支援をいただく中、生徒に感動と自己の変化を実感でき、かつ「地域を支え、地域に支えられる」学校づくりを実践して参りました。

さて、2016年8月末の台風10号豪雨災害の際は、岩泉町全域が甚大な被害を受け、被災した生徒もあり、本校は約2週間にわたり休校にせざるを得ない状況でした。幸いにも、本校生徒・教職員は皆無事で、学校施設に大きな被害はありませんでしたので、各方面からの温かいご支援と励ましを頂戴しながら、約2週間後の9月12日には教育活動を再開し、現在に至っております。これまでご支援いただいた皆様方に心から感謝申し上げます。

今年4月6日に51名の新入生を迎え、全校生徒156名で新たな1年のスタートを切りました。校訓「立志 邁進 才知 共生」のもと、生徒たちは学習、部活動、学校行事等に熱心に取り組み、生き生きとした学校生活を送っております。そして、一昨年度立ち上げた地域課題探究型学修「K I Z U K Iプロジェクト」も3年目を迎え、今までの課題を改善し、さらに本格的に実施することで、課題解決力を高め、地域との連携のもと、「グローバルな視点」と「課題を我が事として考える」視点を育成するとともに、その活動をとおして、岩泉町の復旧・復興と岩泉・田野畑地域振興の一助となれるように、学校全体で取り組んで参りたいと考えております。

本校の部活動を代表する郷土芸能同好会「中野七頭舞」は、今年も岩手県最優秀賞獲得と全国大会出場を目指して、日々厳しい練習に取り組んでおり、また、他の運動部や文化部も、人数が少なくてもチームワーク良く練習を重ねており、各種大会での活躍が大いに期待されるころであります。

結びに、本校生徒及び教職員共々、常日頃、岩泉・田野畑地域の方々からいただいております数多くのご支援に対する感謝の気持ちを忘れることなく、『チーム岩泉高校』として、地域とともに着実に歩んで参りますので、今後とも引き続きご理解とご支援のほどよろしく願い申し上げます。

平成31年4月